

女性研究者支援センターは、さまざまな事業を学内外と連携しながら進めることで、女性が活躍できる研究環境の整備や、キャリアパスの構築を目指しています。

環境整備

推進体制を整えるとともに、研究者への直接支援などを行っています。

● 研究支援員の配置・在宅勤務支援

妊娠・出産・育児および介護で研究時間の確保が難しい研究者に対して、研究を補助する支援員を配置します。また、在宅勤務の支援として、webカメラ付きパソコンの貸与を行っています。

研究支援員の配置実績

年度	22	23	24	25	26	27	合計
配属先研究者数	6名	7名	6名	12名	19名	25名	75名

● 女性の相談窓口

女性の研究者や職員、学生の困ったことや悩みの相談に対応しています。

	内容	実績 (平成22～27年度)
支援センター相談	研究者や研究者になろうとする女性の研究を続けて行く上で困っていること、悩んでいることの相談に対応しています。	77件
女性の健康相談	心や体の悩みについて、助産師などが個別相談やミニ・セミナーを行っています。	・個別相談 73件 ・ミニ・セミナー 参加者 543名
メンター相談	研究を続けていく上での色々な悩みを、先輩の研究者に相談できる仕組みを作っています。	・メンター登録者 30名 ・相談件数 2件

※27年度は8月末現在

● 全学的意識改革

女性研究者が研究を続けていくことへの理解を進めます。

・ロールモデル・セミナーやロールモデル・カフェの実施

ロールモデルとなる、社会で活躍している女性からお話を伺うことで、多様なキャリアパスを考える機会を提供します。

	回数	参加者総数 (H27年度8月末現在)
ロールモデル・セミナー	22回	1,833名
サイエンス・カフェ ※	18回	217名



ロールモデル・セミナー

※平成26年度10月以降は「ロールモデル・カフェ」として開催。

- ・ベビーシッター割引券発行事業
- ・子育て応援ピンバッジ・シール・キャンペーンの実施
- ・ロールモデル・バンクの構築
- ・大阪府「男女いきいき・元気宣言」事業者、堺市子育て応援団に登録

● 学内保育施設「つばさ保育園」



つばさ保育園

研究者育成

女性が研究者として活躍するキャリアパスを構築するとともに、理系を志す女性の数をふやします。

● 研究のスキルアップ支援

英語論文の書き方セミナーや外部資金獲得セミナーなどの実施

● 女性研究者のネットワーク構築

- 理系女子大学院生チーム「IRIS(アイリス)」による小・中・高校生対象の裾野拡大事業の実施



IRISロゴマーク



IRIS任命式

		対象	実績
IRIS		工学・生命環境科学・理学系各研究科の女子大学院生	5期平成23～27年度 128名を任命
IRISの活動	子どもサイエンス・キャンパス	小・中学生	平成23～26年度 (平成26年度未現在) 参加者3,090名
	オープンキャンパス「めざせ！理系女子コーナー」	女子高校生・受験生	平成23～27年度 参加者758名



オープンキャンパス



子どもサイエンス・キャンパス

組織・実施体制

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に本学プログラムが採択されました。

